

ゆずり葉だより 第21号



会長の窓

令和2年10月発行

発行；秋田県在宅保健師等
ゆずり葉の会

季節が急速に進みすっかり秋の気配です。10月1日は中秋の名月、皆さんもご覧になったと思いますけど見事でしたね。思わず手を合わせました。月と言えばススキ（オバナともいうそうです。）、ススキと言えば秋の七草。皆様、覚えていますか。ハギ、オバナ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、アサガオの七種が、日本の秋の花を代表する「秋の七草」と言われています。どの花も派手さはありませんが、楚々として可憐で親しみを覚えます。

今年は、春から夏、夏から秋という季節の移ろいを感じている余裕もなく、せかせか動いていたような気がします。この時期、たまには秋の七草を活けて、風情を楽しめたらいいですね。

さて、コロナの夏、会員の皆様はどのようにお過ごしでしたか。

ゆずり葉の会は、例年と異なり、コロナがらみの事業への協力であつと言う間に時間が経ちました。5月から9月のコールセンター事業では、一緒に従事した看護師さんと親しくなり2名の方には入会もして頂き大きな収穫になりました。

今後は、コールセンターに代わり、10月から看護協会依頼による健康フォローアップセンター事業が始まりました。当会員は4名登録して協力することになっています。よろしくお願いします。

後期高齢者訪問指導事業、保健事業と介護予防の一体的実施事業、そして（株）アルファシステムのフレイル健診事業の進捗状況については、後頁をご覧ください。フレイル健診の1回目、10月6日に五城目町で行われ、副会長と行ってきましたが、保健師の役割は、問診結果に基づく健診の事後指導でした。会員の皆様にご協力をお願いを出しておりますが、難しいことはありませんので、多くの皆様にご参加いただきたくどうぞよろしくお願いします。

（令和2年10月9日記）

令和2年度 第1回幹事会 決定事項報告



7月31日（金）に開催した、第1回幹事会で決定した内容を報告します。

1. 総会（書面）で決定した会員保険について

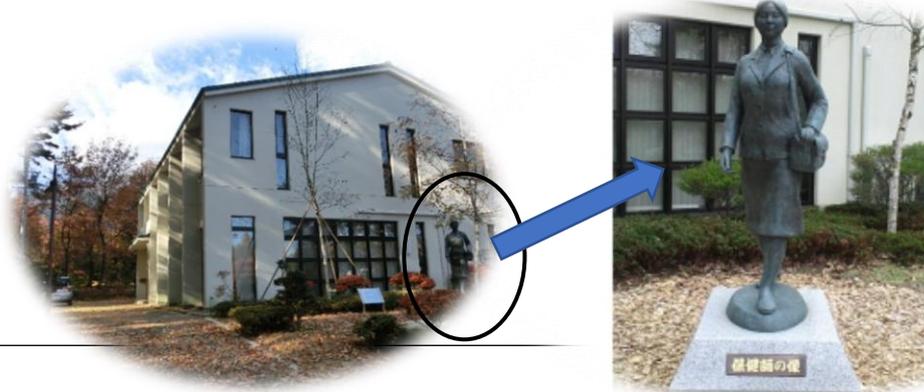
現在委託を受けている事業については受託元が加入してくれている関係上、会として加入する必要性が薄れてきたという状況にあります。（但し委託契約を結んだ事業）また会独自で加入するためには最低20人の稼働人員が必要という条件が難しく、見送ることが決定されました。今後も事業の委託元には保険の加入をお願いしていきます。

2. 今年度開催予定の事業（会員研修会、会員交流会）については、世情に鑑み中止とします。

3. 上記中止に代わり、全会員にお便り（残暑見舞い等）を出したらどうか？ コロナ禍で寂しく思っている会員もいるのではないかと案じている。→全会員に郵送することにしました。

長野の保健婦資料館からのお礼（全文）

昨年度「輝く宝事業」で活動資料を寄贈したところ、保健婦資料館からお礼状が届きました。その全文を皆様にお知らせします。ゆずり葉のこの活動が全国にも拡がり、保健婦資料館がさらに充実するようお祈りします。



『埋もれているものを輝く宝にしよう』事業による66部の保健師活動資料寄贈の御礼

拝啓、平素の保健婦資料館に対しますご支援に心から感謝申し上げます。

さて、この度はゆずり葉の会の『埋もれているものを輝く宝にしよう』事業で収集された、秋田の保健師の皆様の活動資料をたくさん寄贈くださいまして、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。また、すぐにも御礼のお手紙をお送りしなければならないところ、事務局の菊地が2月に大病を患い御礼のお言葉が大変遅くなりましたことを心よりお詫び申し上げます。

現在保健婦資料館では、専門の図書館司書の方々に依頼し、各地からの資料を一般の図書館並みに整備し、インターネットでの資料の検索や公開、ホームページの作成等の作業を実施しておりますが、秋田から寄贈して頂きました貴重な活動の資料は、書庫の中に秋田のコーナーのスペースを儲けまして収納、保存させて頂く予定でございます。

今回のゆずり葉の会の事業は、限られた人数で各地を歩き保健師活動の聞き取りや、資料の収集に四苦八苦しております保健婦資料館の事務局にも、大きな示唆を与えて頂きました。

今後、秋田での『埋もれているものを輝く宝にしよう』事業の取り組みを、各地の退職保健師の会等の皆様に紹介をさせていただき、全国の取り組みに拡げて、日本の保健師の活動の証し『輝く宝』が保健婦資料館に集まって、公衆衛生の遺産として未来の保健師達に繋ぐことが出来れば素晴らしいと、勝手ながら考えております。

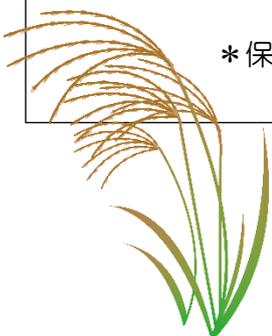
どうかこれからもご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナの感染拡大で諸活動が難しい今日ですが、ゆずり葉の会の益々のご発展と、会員の皆様のご健康をご祈念申し上げ、御礼とさせていただきます。

事務局 〒165-0027 東京都中野区野方 1-45-2

保健婦資料館事務局 菊地頌子 電話 03-3386-8837

* 保健婦資料館所在地：長野県安曇野市穂高有明 3132-2 電話 0263-83-7955



現在のゆずり葉の会の会員活動状況



“コロナコールセンター”

5月から始まった県のコールセンターに、11名の会員が従事しました。9月でこの事業は終了しましたが、他の看護職と共に1日5時間3交代で相談に応じ、有資格者有志が秋田県のコロナ対策の一助になったことを嬉しく思います。他の看護職との交流にもなり、“保健師”の仕事の理解にも繋がったようです。同職した2名の看護師の入会もありました。



後期高齢者訪問指導事業

今年度も昨年度同様、後期高齢者医療広域連合から、70件の委託を受けました。今年度の訪問対象者は、1. 重複頻回多受診者、2. 高血圧未治療者、3. 多剤服用者と変わりました。10月いっぱい訪問は終了しますが、「多剤服用者」の保健指導は難しいという印象がありました。



保健事業と介護予防の一体実施

<五城目町>

状況不明者の家庭訪問 (22件)・・・健診なし、医療なし、介護なしの情報がない方9名の会員で実施し、訪問は終了しました。訪問してみると元気な方もいらっしゃるし、健康状態が悪い方、また介護の必要な方と様々でした。訪問終了後のフォローの必要な方には、役場がフォローします。

通いの場 (サロン) での健康講座 (10月10日現在7回実施済み、15回の要請あり)

今年度のテーマ「口腔機能の向上」 -

昨年度のフレイル予防に続き、今年度は“お口から始まる些細な衰え” - オーラルフレイル予防 - として実施しております。1回につき会員2名で行います。

「オーラルフレイルについて」、「嚥下と誤嚥」、「嚥下テスト・オーラルフレイルチェック」、「唾液腺マッサージ」、「発音練習」、「おでこ体操」「バランス食学習」などを参加者と一緒に行っています。

<秋田市>

家庭訪問 (4件)

通いの場 (サロン) 内容は五城目町と共通 (11月から開始予定)



フレイル健診への協力（株アルファシステム主催）

（株）アルファシステムとの委託契約で、今年度は3市2町（大館市、男鹿市、秋田市、藤里町、五城目町）で実施します。健診の内容は、問診・身体計測・体組成測定・身体機能検査・口腔機能検査です。計測は全て機器で行われますが、保健師は健診結果を参考に4つの判定項目＝□良好、□医療機関への相談、□包括支援センターへの相談、□積極的な社会交流を促す＝にチェックするという業務を依頼されております。年度内24回の委託となっており、1回につき2名の保健師が従事します。皆様のご協力をお願いします。



「秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会」について、佐藤会長にインタビューしてみました。

1. ゆずり葉の会とはどんな会ですか？

第一線を退いた保健師等が運営している会です。事務局は国保連合会にあり、研修受講や会報作成等の議支援を頂いております。国保中央会主催の全国連絡会とも繋がっております

2. 入会の条件はありますか？

看護職やコメディカルなら誰でも入会できます。他県では管理栄養士や歯科衛生士、臨床心理士が会員のところがあります。会費は年間3千円です。

3. 会に社会的な役割はありますか？

近年特に行政機関からの委託業務が増えております。これまで培ったスキルを、その業務に活かし委託に応えております。勿論新たに学習しなければならないことは各種研修に参加し、新しい知見を取り入れながら行っております。

4. 入会するとどんな良いことがありますか？

総会、研修会、交流会、各種事業等を通じて全県の退職保健師や現任保健師達との交流ができ、いつまでも「保健師」を“実感”し、誰かの役に立つことができます。また、厚生労働大臣や日本公衆衛生協会長などの様々な表彰受賞するための推薦団体になっており、数多くの会員が受賞されており自分へのご褒美をもらうことができます。

5. 会長自身が会活動をしていて楽しいなあと感じることはどんな時ですか？

__地域に出向き住民とじかに触れあって、皆様の笑顔を目にするとき、この上ない幸せを感じます。また、一人ひとりから生活の知恵を学ぶことができ、とくな職業だと思えます。

時は極端に移ろい、酷暑の夏から厳冬へと進もうとしております。季節の急な変化で体調をくずしてはおりませんか？新型コロナの対策も徐々に強化されるでしょうが、インフルエンザにもどうぞお気をつけてお過ごし下さい。来年は元気でお会いしましょう。